アリルジュ株式会社

Corporate Guide



202505-01

ごあいさつ

私たち大鵬薬品グループは、50年以上、がん治療薬の開発・提供を通して、
がんと向き合ってきました。私たちが叶えたいのは、病気を治すことだけではありません。
人々の**かけがえのない「いつも」の生活が「いつまでも」続くように**、
がん患者さんやご家族に貢献し、がんに関する社会課題を解決することが私たちの使命です。
アリルジュは、**薬では解決できないがんに関する社会課題を解決**していきます。

目次

CONTENTS

01 会社概要

02 復帰復職・両立支援を取り巻く環境

03 アリルジュにできること

04 アリルジュLEARNINGご紹介

05 その他サービスのご紹介

会社概要

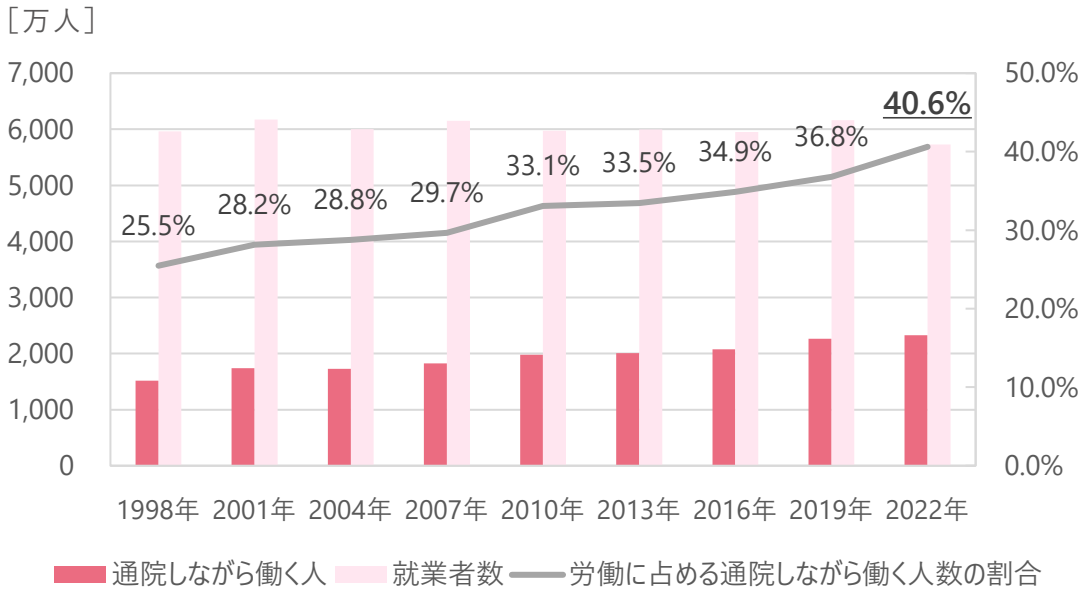
会社名	アリルジュ株式会社（ARIRGE CO., LTD.）
オフィス	〒105-6404 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー4階
設立	2024年（令和6年）6月6日
代表	森下　真行
事業内容	医療・ヘルスケアに関する情報・ソフトウェアの提供 およびプラットフォーム事業など



今後ますます復帰復職・両立支援が必要になる理由

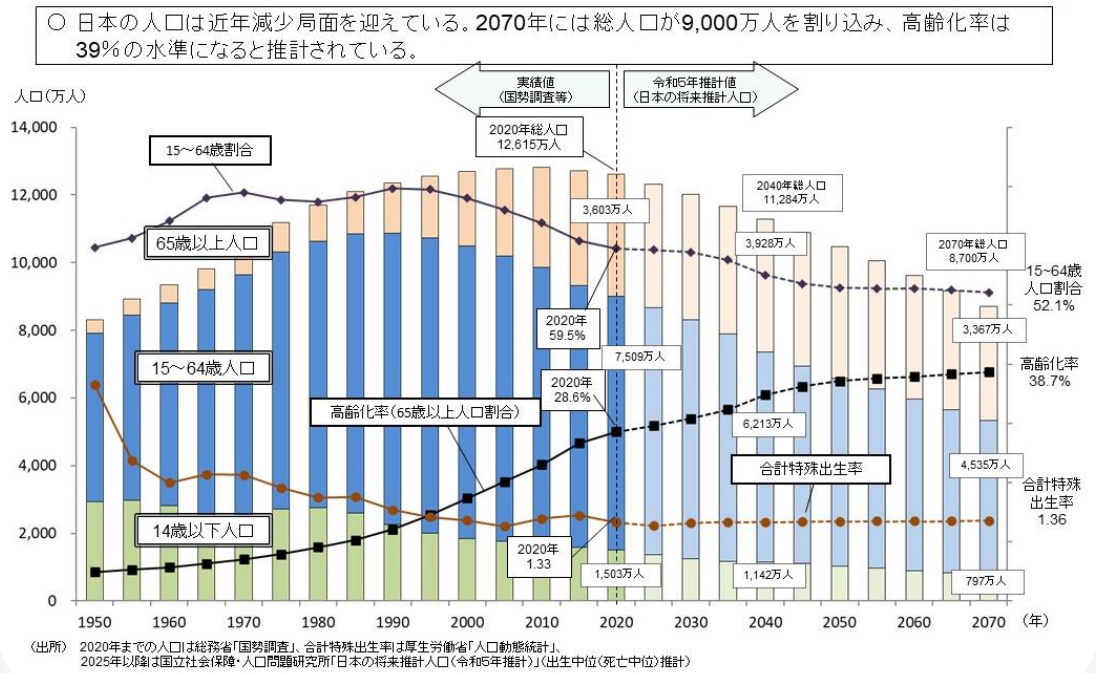
何らかの疾患で**通院している就業者は約３人に１人**を超えており、その割合は増加傾向。
少子高齢化に伴う労働力減少により、労働力確保のための定年延長も進んでいます。
そのため、**今後通院しながら働く人はより増えていく**ことが予想されます。

疾病を抱える労働者の通院状況(1)



1,入院者は含まない 2,15歳以上の者 3,就業者数は世帯人員のうち「仕事あり」の者
4,2016年の数値は、熊本県を除いたもの

日本の人口の推移(2)



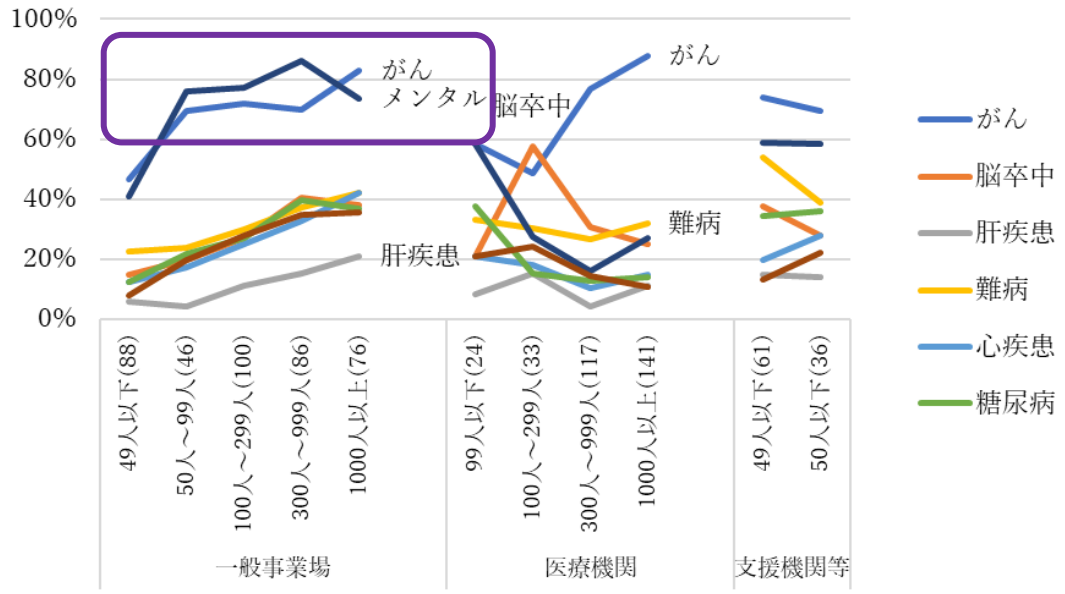
（1）「国民生活基礎調査」（厚生労働省）（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21kekka.html）を加工して作成
（2）厚生労働省ホームページ（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21481.html）

支援の多い疾患とがん患者の離職状況

企業において、治療と仕事の両立を支援する疾患は**がん、メンタルが特に多い**。
また、被雇用者において、がんと診断されたあと**依願退職または解雇となっているがん患者は約35%**。
従業員の疾病による離職を防ぐことで、**人材資源の喪失を防ぐ**ことができます。

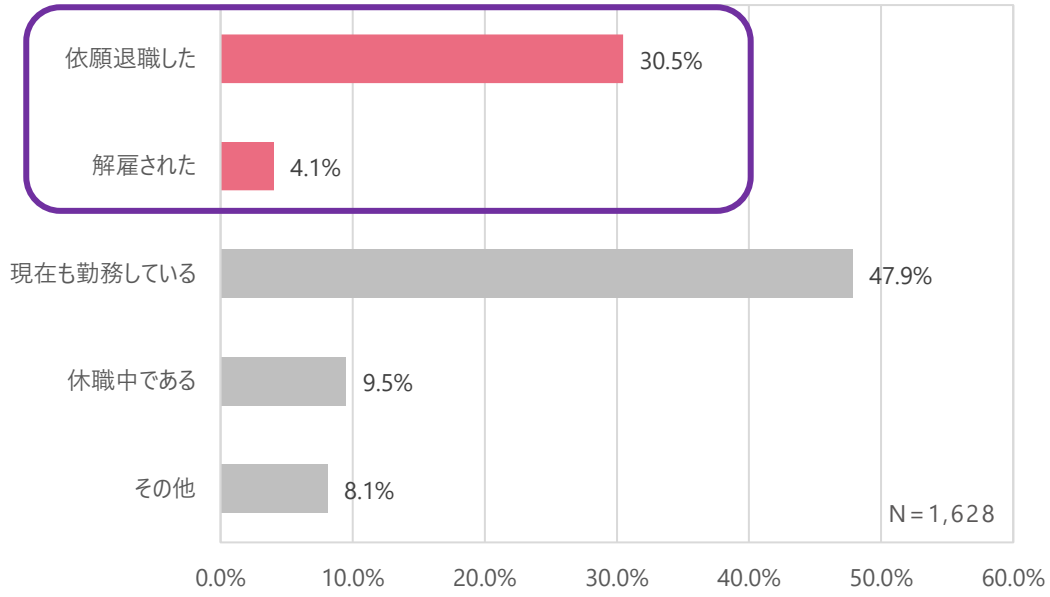
支援経験のある疾患(1)

事業場規模のカッコ内は回答者数を示す。回答者数 20 人未満の区分は合算した。



被雇用者の仕事の状況変化(2)

がんと診断された時点で勤めていた会社についての状況



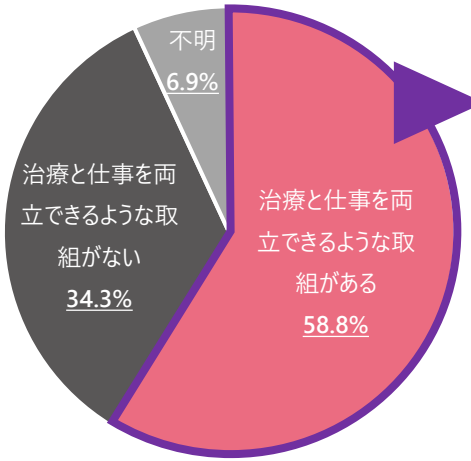
（1）治療と仕事の両立支援に関する情報・人材基盤の実態調査および支援拡充のために必要な両立支援コーディネーターの育成に資する研究（210301-02）（https://www.mhlw.go.jp/content/001114416.pdf）
（2）2013がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査 概要報告（https://www.scchr.jp/cms/wp-content/uploads/2015/09/2015090902.pdf）

病気の治療と仕事の両立に不安のある人は多い

事業所における治療と仕事を両立できるような取組について、58.8％が「取組がある」と回答しており、取組がある事業所では「通院や体調等の状況に合わせた配慮、措置の検討」等、様々な取組を実施しているものの、日本においては**「がんになったら働き続けられない」と感じている人は半数以上**。

事業所における治療と仕事の両立に関する取組(1)

取組の有無



N＝8,144

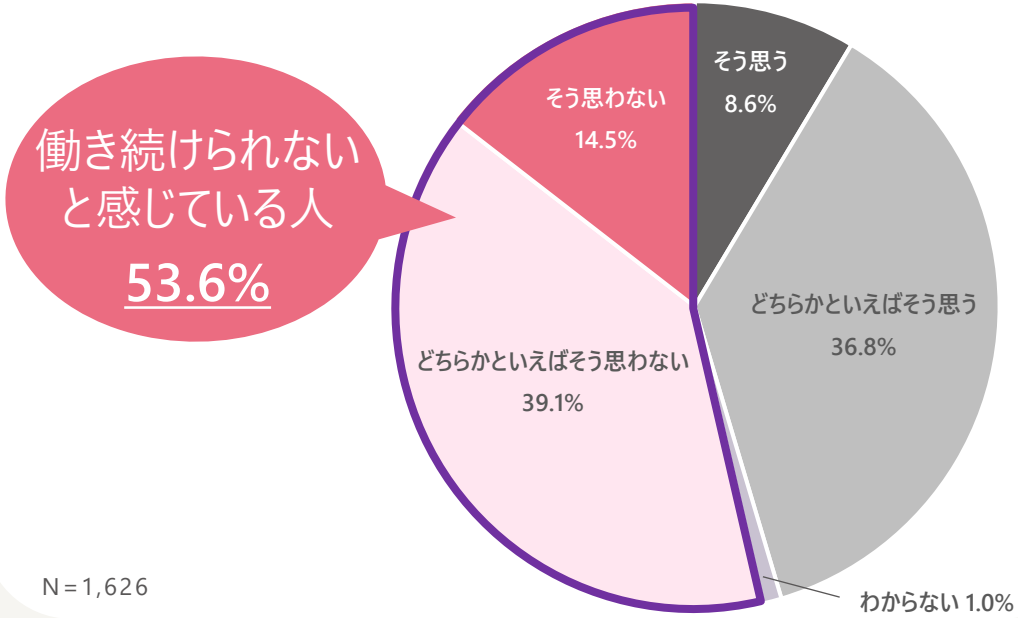
〈取組の内容〉

- 通院や体調等の状況に合わせた配慮、措置の検討（柔軟な労働時間の設定、仕事内容の調整）86.4%
- 両立支援に関する制度の整備（年次有給休暇以外の休暇制度、勤務制度等）35.9%
- 相談窓口等の明確化 34.4%
- 両立支援に関する体制の整備（産業医等産業保健スタッフの配置、対応手順の整理等）18.5%
- 労働者、管理監督者等に対する意識啓発（研修等）14.6%
- その他の取組 1.5%

（複数回答）

がん治療・検査と仕事の両立に関する意識(2)

Q.あなたは、がんの治療や検査のために２週間に一度程度病院に通う必要がある場合、現在（の日本の社会は）、働き続けられる環境だと思いますか？



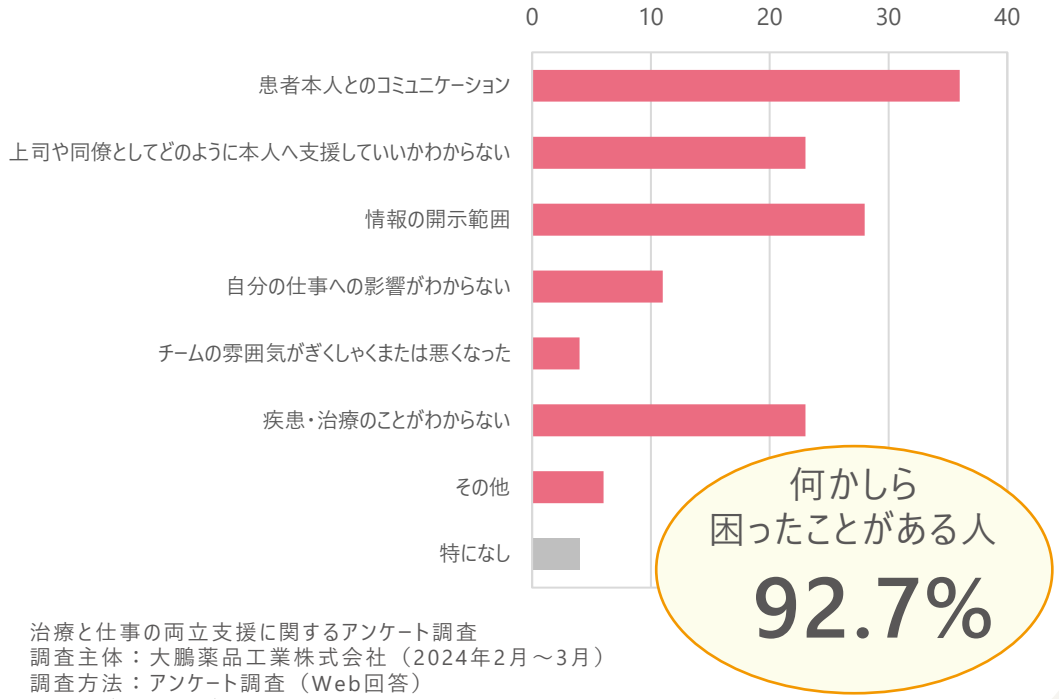
N＝1,626

（1）「令和４年　労働安全衛生調査（実態調査）」（厚生労働省）（https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/r04-46-50b.html）
（2）内閣府世論調査「がん対策に関する世論調査（令和5年7月調査）」（https://survey.gov-online.go.jp/r05/r05-gantaisaku/2.html#midashi14）

復帰復職・両立支援でよくある職場の困りごと

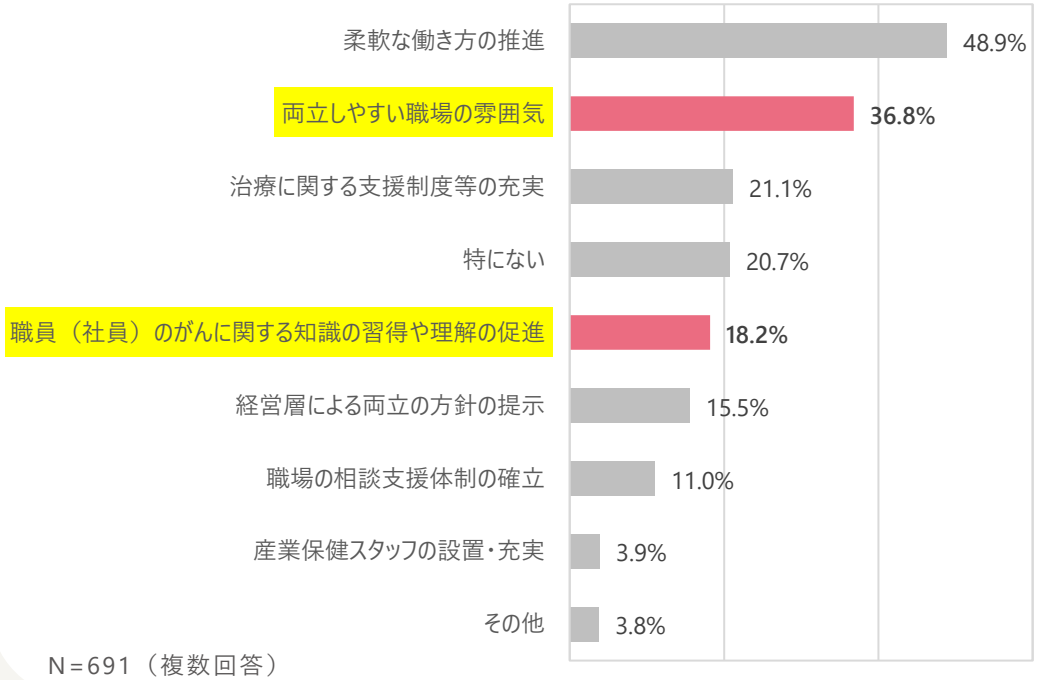
両立支援に関わった社員のアンケートでは、**90％以上が何かしら困ったことがあった**と回答。
両立支援のために職場に求めることのアンケートでは**両立しやすい職場の雰囲気**や、
社員の知識習得・理解の促進が求められています。

職場の両立支援で困った経験 92.7%



治療と仕事の両立支援に関するアンケート調査
調査主体：大鵬薬品工業株式会社（2024年2月～3月）
調査方法：アンケート調査（Web回答）
N＝89（複数回答）

両立支援のために職場に求めること(1)



N＝691（複数回答）

（1）東京都がん患者の治療と仕事の両立に関する調査報告書（令和4年1月）（https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/soudan/ryouritsu/other/2201_chosa）

復帰復職・両立支援でよくある悩み・課題

治療と仕事の両立について、それぞれの立場におけるお悩みや課題は多岐にわたります。

患者本人



- 仕事は続けられるのかな？
- 社内制度って何が使える？
- 同僚に迷惑をかけたくない・・・

人事 産業保健スタッフ



- 都度、社員や上司へ個別対応している
- 上司は管理監督者として、安全配慮義務に意識した対応をしてほしい
- 人事部門に相談してくれる人が少ない、もっと早くから相談してほしい

上司 同僚



- どのように声をかけたらいいの？
- 本人に寄り添ってあげたいけど、何をしたらいい？
- 接するときに注意しないといけないことってある？

認識にGAPが発生し、遠慮と遠慮によるコミュニケーション不足、生産性の低下に繋がることも・・・

アリルジュにできること

社員全員が「病気の治療と仕事の両立」について学べ、
コミュニケーションを向上させることで**「困ったときはお互いさまの風土醸成」が可能**！
それにより**“質の高い両立支援”**を叶える！

Point 01
両立支援がわかる

×

Point 02
風土醸成ができる

＝

質の高い両立支援
を実現！

Point 01
両立支援がわかる

3つの特徴

01 実践に役立つショート動画



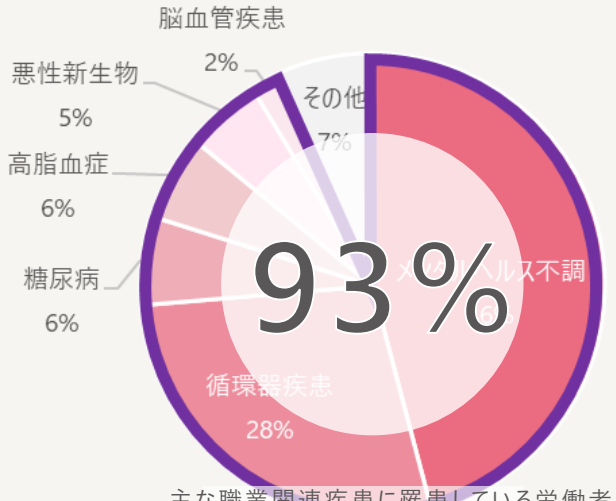
- ✓ 動画はすべて5分程度
- ✓ 実例を基に進め方を解説
- ✓ ベーシックな教育（シーン毎×本人向け・上司向け・同僚向け）

02 充実したコンテンツ



- ✓ 復帰支援～治療～未病までわかる
- ✓ 両立・両立支援についてわかる
- ✓ チェックリストでやることがわかる

03 コンテンツの質と量



主な職業関連疾患に罹患している労働者の総患者数(1)
（15歳～64歳の総患者数×年齢階級別労働力人口比率）

- ✓ 製薬会社グループが精査した情報をもとに制作
- ✓ 就労世代が罹患する疾患の93%を網羅

(1)「患者調査（平成20年10月）」（厚生労働省）（https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/08/index.html）および「労働力調査」（総務省統計局）（https://www.e-stat.go.jp/stat-search/database?page=1&layout=dataset&toukei=00200531&statdisp_id=0002060049）をもとに作成

Point 02
風土醸成ができる

3つの特徴

01
様々な立場に対応



- ✓ 支援が必要な本人、上司、同僚、立場に合わせた動画で学べる
- ✓ 立場に応じて必要なことがわかる

02
コミュニケーションがわかる



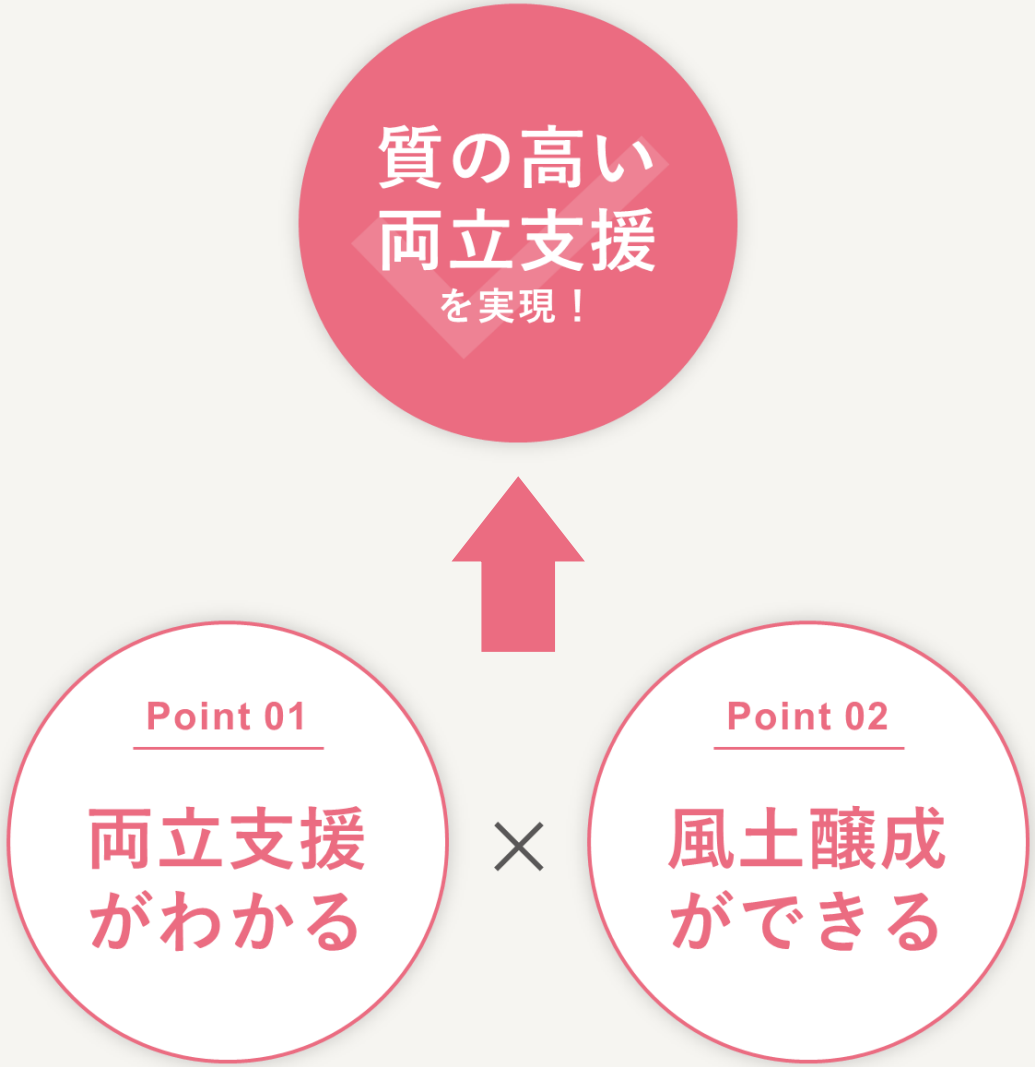
- ✓ 病気を打ち明けられたときの声がけOK/NGパターンがわかる
- ✓ 遠慮しすぎないコミュニケーション

03
社内の環境づくりにも



- ✓ 困ったときはお互い様の風土醸成
- ✓ 立場やシーンに合わせて学べるから相談しやすい職場環境づくりにも

アリルジュならご支援できます！



アリルジュだからこそ、できるご支援があります！

病気の治療と仕事の両立支援を進めるうえで考えたいこと

- ✓ 社員に正確な情報を提供する
- ✓ 社員に両立支援で大切なことを理解してもらう
- ✓ 「困ったときはお互いさま」の風土醸成をする
- ✓ 人事スタッフは個別性の高い対応に時間をかけられる

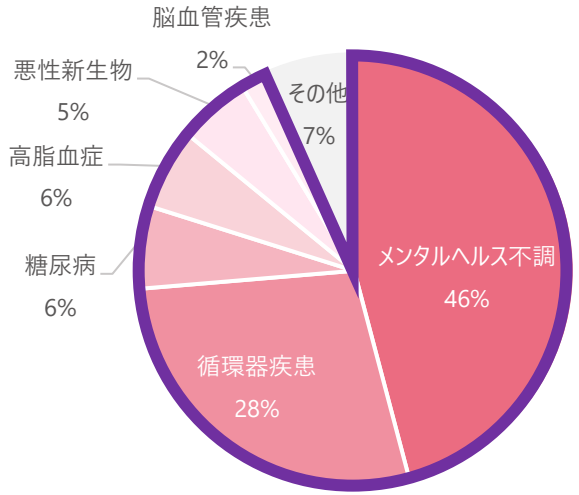
アリルジュLEARNINGご紹介

治療と仕事の両立に関する教育サービス

Point 1 製薬会社グループが精査した情報をもとに、**正しく理解できるコンテンツ**を掲載！

メンタルヘルス不調や3大疾病をはじめ、就労世代が罹患している疾患の93%を掲載

主な職業関連疾患に罹患している労働者の総患者数(1)
（15歳～64歳の総患者数×年齢階級別労働力人口比率）



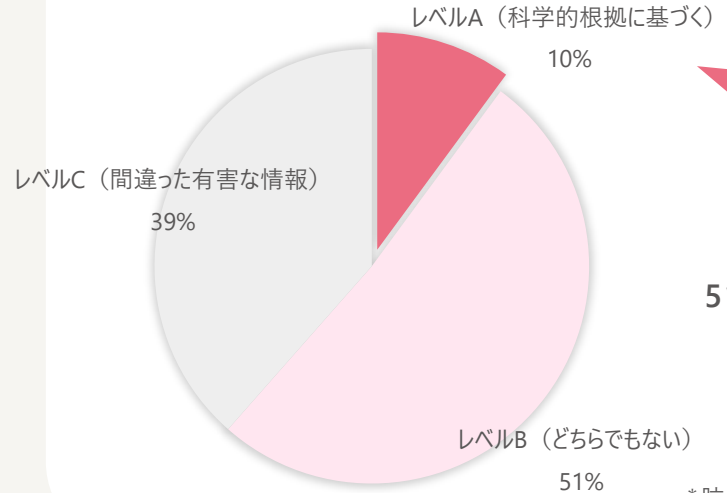
アリルジュLEARNING



メンタルヘルス不調、生活習慣病、3大疾病（がん、心疾患、脳血管疾患）含めコンテンツ掲載！

個人がインターネット検索で信頼性の高い情報を得るのは難しい

インターネット検索における信頼できる情報の割合(2)



科学的根拠のある情報は **10%**

5つのがん種* × 治療/治癒で検索

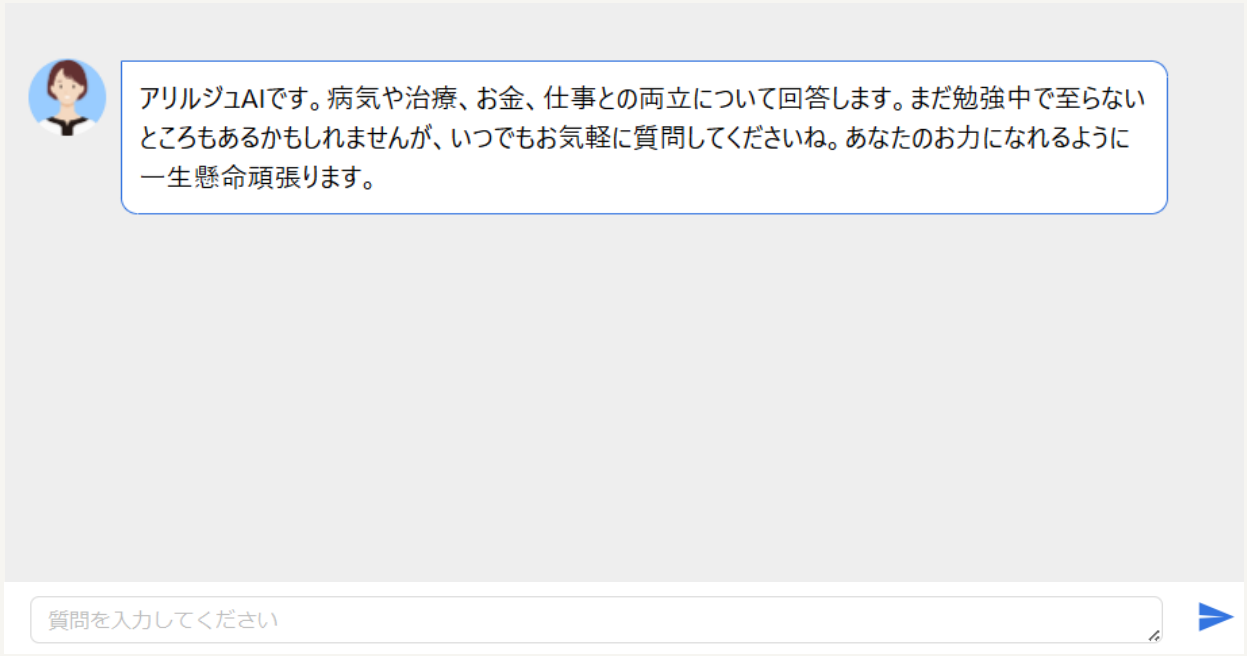
*肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、肝がん

(1)「患者調査（平成20年10月）」（厚生労働省）（https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/08/index.html）および「労働力調査」（総務省統計局）（https://www.e-stat.go.jp/stat-search/database?page=1&layout=dataset&toukei=00200531&statdisp_id=0002060049）をもとに作成
(2) Ogasawara R , et al. JMIR Cancer, 17 Dec 2018, 4(2):e10031

アリルジュLEARNINGご紹介

治療と仕事の両立に関する教育サービス

Point 2 両立支援に関するあらゆる質問に**アリルジュAI（β版）が瞬時に回答**！
信頼のおけるサイトを参照し、**正確な情報**を提供します。





患者さん本人

正しい情報ってどうやったら調べられる？
病院選びってどうすればいい？



人事（産業保健スタッフ）

正確な情報を社員に提供したい
調べるのにかなり時間がかかる・・・



上司

病気を打ち明けられたらどう声がけする？
部下が休職するとき、何をすればいい？

アリルジュLEARNINGご紹介

治療と仕事の両立に関する教育サービス

Point 3 社内制度もまとめられるから、入口が1つなので社員は**どこを探せばよいのかわかりやすい**！
社内ページは**企業ごとの制度に合わせて作成可能**！





アリルジュLEARNINGご紹介

治療と仕事の両立に関する教育サービス

Point 4 アリルジュLEARNINGを使うことで、人事スタッフは「人」にしかできないことに時間を掛けられる！

社員の活躍維持や定年延長の対策

がんをはじめ、病気の治療と仕事の両立について社員に正しく理解してもらうことで、
管理職世代を含む社員の**活躍維持、女性活躍、定年延長の対策**が可能になります。

社員に寄り添った支援ができる

基本的な両立・両立支援の知識を社員が身に付けることで、都度教育や
お問い合わせ対応の負担軽減につながり、定期健診事後措置、職場環境改善、
過重労働対策など、**きめ細やかな対応により時間を掛けられるように**なります。

両立に関する困りごと解消

どのように支援すればよいのか？など、職場で悩んでいることが解消され、
生産性が維持できるようになります。

その他のサービス

アリルジュでは他にもサービスをご用意しております。
企業課題に合わせたサービスのご紹介、支援のご提案をさせていただきます。お気軽にご連絡ください！

アリルジュSUPPORT
企業の両立支援をサポートするクラウドサービス

医療機関との連携機能などで復帰復職/両立を効果的にサポートできる企業向けクラウドサービスです。
治療と仕事の両立・休復職に関する社内手順のナビゲーション機能、医療機関との連携機能などで、困り事を解決します。



アリルジュCALL
がん検診の受診勧奨サービス

社員の命をがんから守るための企業向け受診勧奨サービスです。
がん検診の正しい理解や受診の意義を、社員の関心度に合わせて個別にアプローチすることで、がん検診の受診率の向上をサポートします。がん検診だけでなく、健康診断の二次検査の受診勧奨にも対応予定です。



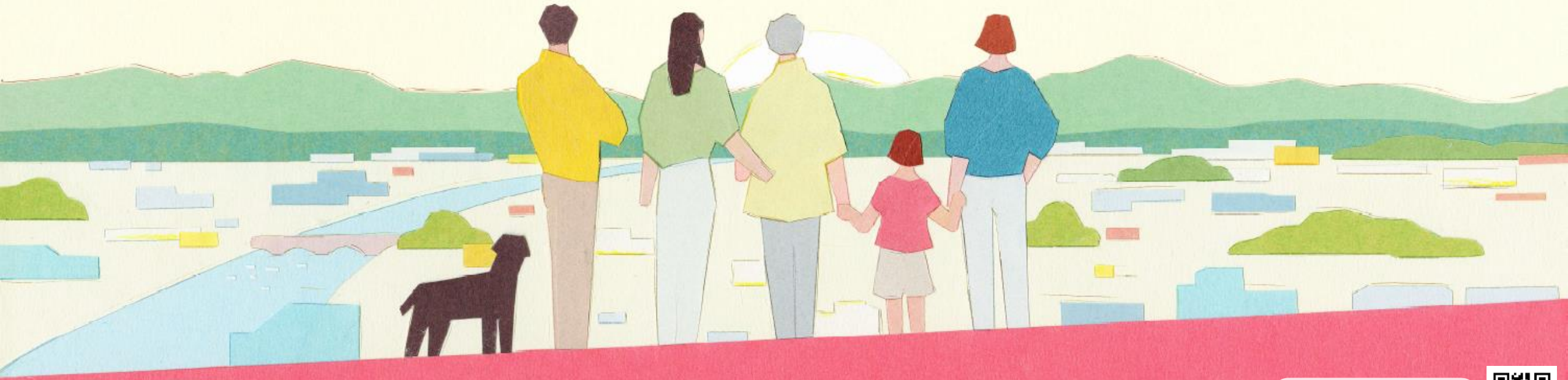
アリルジュNON-SMOKING
社員の卒煙を支援するサービス

企業向け卒煙施策支援サービスです。
卒煙意思のある社員に寄り添った卒煙支援を行うために、知覚された組織的支援（Perceived Organizational Support）のノウハウを提供し、企業の喫煙率低下をサポートしていきます。



アリルジュ株式会社

がんに関する
社会課題の解決



アリルジュは、あなたに寄り添うコンシェルジュであり続けます

アリルジュが解決したい
社会課題について